

## 令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

## 目次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	1
②	災害に強い森林づくり推進事業	
	ア. 災害緩衝林整備事業	2
③	森林情報基盤整備事業	4
④	森を育む人づくりサポート体制整備事業	
	ア. 森林教育体制整備事業	7
	イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	13
	ウ. 森林教育施設整備事業	19
⑤	生物多様性推進事業	21
⑥	森林とふれあう自然公園環境整備事業	23
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	24
	ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	
	a. 流域防災機能強化対策事業	25
	b. 森林再生力強化対策事業	26
	イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	
	a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	28
	ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	30
⑧	みえ森と緑の県民税制度運営事業	37

## ① 令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

	予算額 (千円)
<b>積立総額</b>	<b>1,113,255</b>
① <u>みえ森と緑の県民税基金積立金事業</u>	1,113,255
<b>取崩総額</b>	<b>1,237,478</b>
② 災害に強い森林づくり推進事業	379,951
ア. <u>災害緩衝林整備事業</u>	379,951
イ. <u>土砂・流木緊急除去事業</u>	0
③ <u>森林情報基盤整備事業</u>	100,000
④ 森を育む人づくりサポート体制整備事業	76,369
ア. <u>森林教育体制整備事業</u>	29,268
イ. <u>みえ森づくりサポートセンター運営事業</u>	28,414
ウ. <u>森林教育施設整備事業</u>	18,687
⑤ 野生生物保護事業	17,880
ア. <u>生物多様性推進事業</u>	17,880
⑥ 自然公園利用促進事業	10,000
ア. <u>森林とふれあう自然公園環境整備事業</u>	10,000
⑦ <u>みえ森と緑の県民税市町交付金事業</u>	629,570
ア. <u>みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業</u>	192,189
a. <u>流域防災機能強化対策事業</u>	171,244
b. <u>森林再生力強化対策事業</u>	20,945
イ. <u>みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業</u>	33,550
a. <u>災害からライフラインを守る事前伐採事業</u>	33,550
ウ. <u>みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業</u>	403,831
⑧ <u>みえ森と緑の県民税制度運営事業</u>	23,708

※下線の事業毎に事業別評価シートを作成しています。

## ②：災害に強い森林づくり推進事業

担当課：治山林道課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：①土砂や流木による被害を出さない森林づくり

### 1 事業の目的

近年の山地災害に見受けられる流木や土砂流出による被害を低減するため、浸食されやすい谷地形や脆弱な土壌等を立地環境とする溪流沿いの森林において、「流木の発生を抑制する」、「上流からの流木や土砂、土石流等の流下を緩衝する」、「山腹斜面からの倒木や土砂等の流入・流下を抑制する」といった災害緩衝機能を発揮する森林の整備を行います。

### 2 事業の必要性

近年、局地的な集中豪雨の増加に加え、手入れが行き届いていない森林の増加などにより、土石流発生時に溪流沿いの木を巻き込み流下し、流木となって人家や公共施設等への被害を拡大させるケースが増加しているため、引き続き、事業を継続して進めていく必要があります。

### 3 事業の内容

#### 災害緩衝林整備事業

- ① 流木や土砂の流出による災害の発生のある溪流部において、流木となる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために危険木の伐採・搬出を行います。
- ② ①の溪岸部において、立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去を行い、上流からの土砂の流下を緩和軽減させます。
- ③ ①、②の周辺山腹部において、溪流内に倒木や土砂が流れ出さなくするために立木の根系の発達を促す調整伐を行います。
- ④ 林業研究所において、上記取り組みの効果を明らかにするための調査・研究を行います。

## 令和4年度 災害に強い森林づくり推進事業実施予定箇所一覧表

## 1. 災害緩衝林整備事業

番号	箇所番号	調査箇所				危険木除去 (m)	緩衝林整備 (ha)	実施予定額 (千円)	備考
		市町	大字	字	災害危険地 番号				
1	四-1	鈴鹿市	西庄内町	池ノ谷	-	210	3.76	5,800	
2	四-2	亀山市	関町市瀬	野々谷	-	400	3.75	4,700	
3	四-3	亀山市	加太中在家	オシカガ谷	-	175	1.20	5,800	
4	四-4	亀山市	加太中在家	三ツ合	-	225	1.50	4,500	
5	四-5	亀山市	加太板屋	西谷	-	300	2.79	5,000	
6	四-6	亀山市	安坂町	横尾	210-1	235	2.78	3,600	
7	四-7	亀山市	安坂町	一之谷	210-3	275	3.96	4,700	
8	津-1	津市	美杉町八知	トリガウエ	-	300	2.28	11,400	
9	松-1	松阪市	大足町	大足山	-	500	2.42	10,100	
10	松-2	松阪市	阪内町	尻附谷	-	250	2.96	16,348	
11	松-3	松阪市	飯南町横野	ファイ谷	-	360	2.71	3,400	
12	松-4	松阪市	飯南町下仁柿	中倉	-	150	1.23	7,400	
13	松-5	松阪市	飯高町宮本	桐ノ木	204-3038	150	0.16	6,100	
14	松-6	多気町	相鹿瀬	羽鹿谷	-	975	4.99	16,930	
15	松-7	大台町	神瀬	狩ヶ谷	443-0006	200	0.74	15,730	
16	松-8	大台町	下真手	荷ノ倉	-	540	1.86	16,000	
17	松-9	大台町	小切畑	庄吉小屋	-	100	0.49	10,535	
18	伊-1	南伊勢町	迫間浦	有方	-	1,000	8.05	8,500	
19	伊-2	南伊勢町	迫間浦	ムゴウラ	-	430	5.87	6,000	
20	伊-3	大紀町	永会	西ノ谷	471-0043	380	6.17	7,700	
21	伊-4	大紀町	神原	樋ノ谷	471-0027	367	7.62	19,100	
22	上-1	伊賀市	奥馬野	オク	-	230	5.26	9,400	
23	上-2	伊賀市	下阿波	皿上	216-412	810	9.03	14,800	
24	上-3	伊賀市	上阿波	船ヶ谷	-	650	10.83	12,600	
25	上-4	伊賀市	諸木	折戸	-	780	4.75	9,700	
26	上-5	名張市	青蓮寺	青蓮寺山	-	280	3.52	9,300	
27	尾-1	尾鷲市	古江町	ソラ	-	875	4.76	16,600	
28	尾-2	尾鷲市	古江町	奥の谷	-	489	5.36	14,900	
29	尾-3	尾鷲市	九鬼町	奥地	-	1,350	3.84	12,500	
30	熊-1	熊野市	井戸町	土地山	-	325	2.48	4,300	
31	熊-2	熊野市	井戸町	がま谷	216-412	1,250	4.32	20,600	
32	熊-3	熊野市	紀和町大河内	和知谷	-	1,000	7.34	18,000	
計	32箇所	15市町				15,561	128.78	332,043	



### ③：森林情報基盤整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：① 災害に強い森林づくり

対策区分：① 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

#### 1 事業の目的

航空レーザ測量を実施して、詳細な森林資源情報を把握することで、効率的な森林管理を促進するとともに、精度の高い3次元地形データを取得して、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握することで、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。

また、航空レーザ測量によって把握できる尾根、谷等の詳細な地形や林相界等の情報を森林クラウドにより市町と共有することで、市町による森林の適正な管理の実行につなげます。

#### 2 事業の必要性

緊急に整備が必要な森林や、山地災害や流木被害の発生の恐れのある森林を効率的に把握し、災害に強い森林づくりを着実に進めるためには、航空レーザ測量を実施して、樹種、樹高、立木密度、材積等の詳細な森林資源情報や、尾根、谷等の精度の高い微細な地形情報等を効果的に取得する必要があります。

また、所有者の関心の低い森林や、境界が不明な森林等において、手つかずの状態になることを防止するため、森林境界の明確化につながる情報の把握に努める必要があります。

#### 3 事業の内容

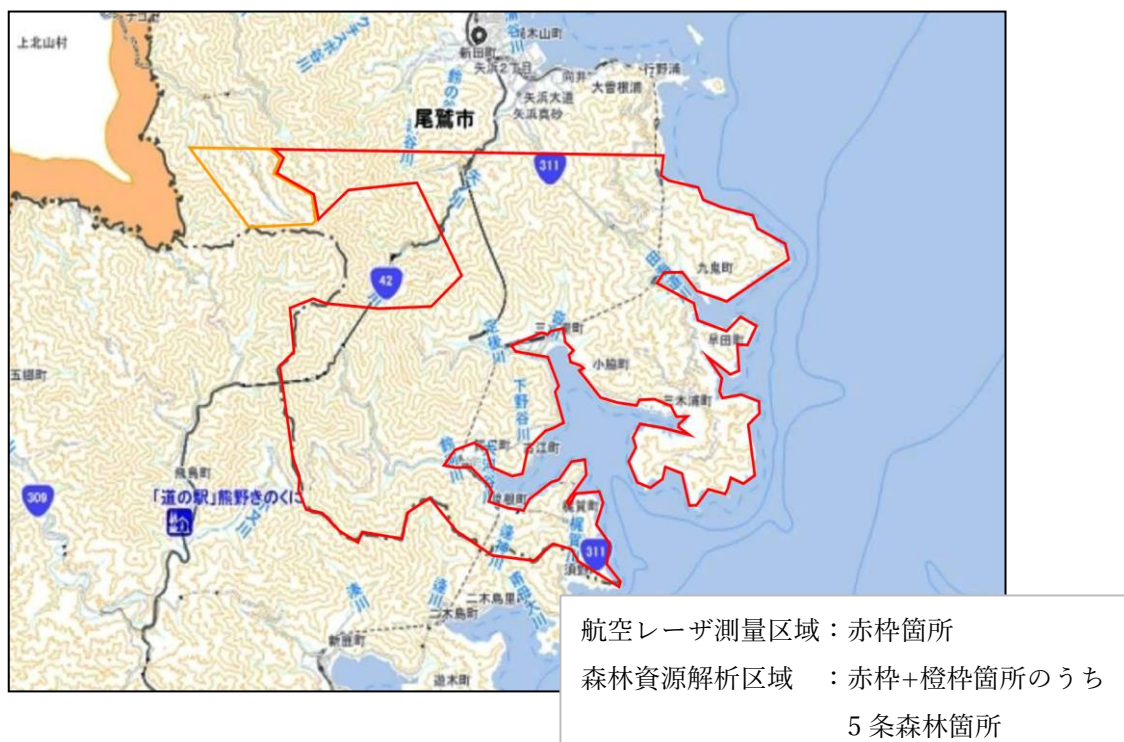
航空レーザ測量の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。

- (1) 航空レーザ測量 ※レーザ照射点密度4点/m<sup>2</sup>
  - ・三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成
- (2) 森林資源解析
  - ・林相区分データ作成
  - ・単木解析（樹木本数、単木毎の位置、樹高、樹冠幅、樹冠長、胸高直径、材積等の把握）
  - ・林分解析（平均胸高直径、平均樹冠長、総材積、平均形状比、平均樹高、立木本数密度、収量比数、相対幹距比等の算出）
- (3) 成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成

## 令和4年度事業計画

測量面積	予算額(千円)	事業実施区域
約370km <sup>2</sup> (3万7千ha)	100,000	尾鷲市、御浜町、紀宝町、津市、 紀北町

## 1. 尾鷲市 測量予定区域



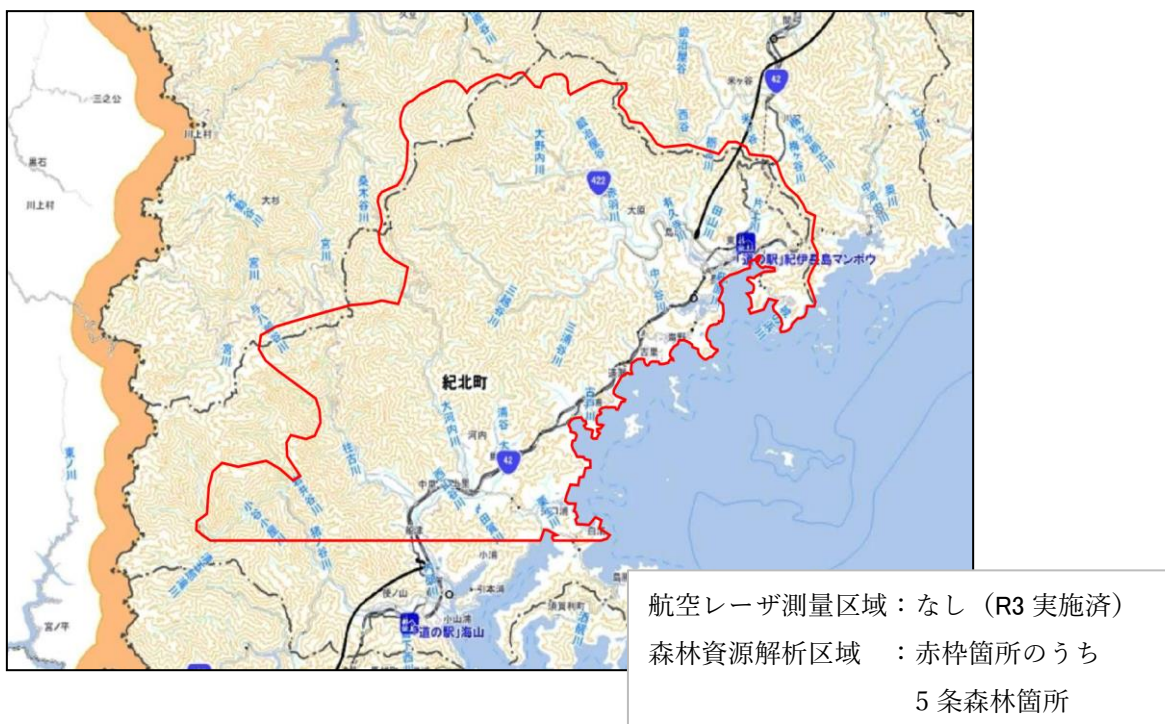
## 2. 御浜町、紀宝町 測量予定区域



## 3. 津市 測量予定区域



## 4. 紀北町 測量予定区域





## ④-ア：森林教育体制整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

### 1 事業の目的

「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

### 2 令和4年度事業の概要

#### (1) 森林教育イベントの開催

【森林教育シンポジウム（仮称）】

日時：令和5年2月（開催予定）

場所：三重県総合文化センター

目的：学校教育の現場や幼児保育における森林教育の重要性や効果について考える交流会やワークショップ、森林教育についての理解を深める講演会などを通じて、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

参加者：学校教育関係者、保育士、森林教育に関心のある県民

#### (2) 森林教育プログラム等の開発・実践

「みえ森林教育ビジョン」を実現するため、子どもから大人まで一貫した教育体制を構築し、主体的・対話的な学びを取り入れた教育手法の普及に有効な森林教育の取組手法の開発・実践、及びその指導者育成を行います。

##### ① 子ども向け講座

【ジュニアフォレスター育成講座】

【子ども自然環境キャンプ めざせ！たき火マスター】

実施日：令和4年11月～令和5年2月（予定）

場所：未定

目的：森林や自然、野外活動等に関心のある子どもたちの学びの意欲をさらに高揚し、森林・林業及び持続可能な社会への理解を促進

するとともに、子供たちの創意工夫や適応力、寛容さなどを養い、「生きる力」を育みます。

参加者：小学生



R3 ジュニアフォレスター養成講座



R3 子ども自然環境キャンプ  
めざせ！たき火マスター

### 【指導者養成講座】

実施日：令和4年10月～令和5年2月（予定）

場所：未定

目的：「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」を進めていくため、森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育むことのできる指導者を育てます。

参加者：森林教育指導者として活動する意欲のある方



R3 指導者養成講座（演習）



R3 指導者養成講座（実践）

## ② 学生向け講座

実施日：令和4年10月～12月（予定）

場所：未定

目的：将来森林教育に携わりたいと考える学生などを対象に、森林や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について考えます。

参加者：森林教育に関心のある学生等

## ③ 幼児教育関係者向け交流会

実施日：令和5年2月（予定）

場所：三重県総合文化センター

目的：全国的に広がりを見せている森林や自然を活用した保育・幼児教育をテーマとした交流会を開催し、保育・幼児教育における森林教育の課題解決に取り組みます。

また、幼児教育の現場で森林教育が効果的に実施されるよう、森林教育アドバイザーを派遣します。

参加者：保育園・幼稚園の保育士等



R3 幼児教育関係者向け交流会

## ④ 企業向け講座

実施日：令和4年9月～11月（予定）

場所：未定

目的：企業（事業者）を対象に、代々手入れされてきた林業地を見学することで森林を知る体験や、森林の現状や森林を活用することの意義などについて学び、企業が森林との結びつきやビジネスチャ



ンスなどを考える機会を創出します。  
参加者：一般企業（経営者等）



R3 企業向け講座（講義）



R3 企業向け講座（林業先進地視察）

### ⑤ 副読本等の作成

目的：小学校5年の社会科教科書に対応した副読本と、学校指導要領に沿ったみえ森林ワークブックを作成し、森のはたらきや緑の循環、木材利用の意義などへの理解を深めます。

対象：県内の小学5年生、他



R3 発行 副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」

## (3) 森林教育ステーションの認定

県民の皆さんに森づくりの大切さや木材利用の意義を広く普及するため、木製遊具や玩具に触れ、森林・林業について学べる常設型の森林教育施設として認定します。

## (R3 森林木育ステーション認定施設の一覧)

ちびっこ木造ふれあい施設  
(熊野市) R3.12.13 認定



御浜町中央公民館  
(御浜町) R3.12.24 認定



安濃子育て支援センター「わくわくランド」  
(津市) R4.2.24 認定



南伊勢町子育て支援センター  
(南伊勢町) R4.3.14 認定



南伊勢町子育て支援サロン  
(南伊勢町) R4.3.14 認定



名張市こども支援センターかがやき  
(名張市) R4.3.17 認定





### 3 情報発信

実施した取組が、みえ森と緑の県民税を活用していることとあわせて、森林の適切な管理を行うことで「災害に強い森林づくり」を実現し、地域木材を利用するなど「県民全体で森林を支える社会づくり」の重要性について周知を図ります。

## ④-イ：みえ森づくりサポートセンター運営事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

### 1. 事業の目的

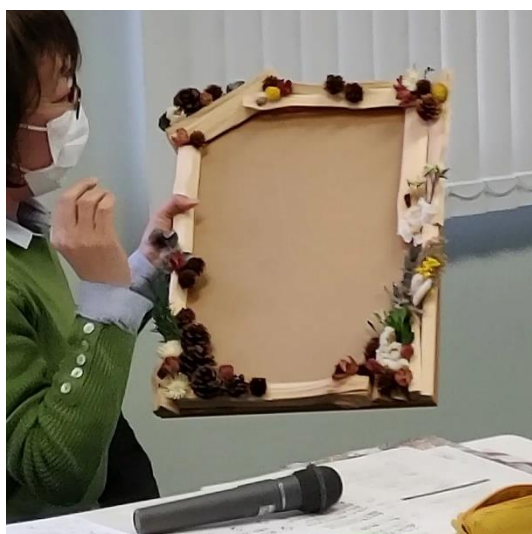
森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

### 2. 令和4年度事業の概要

学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートを行います。

#### (1) 指導者の育成

学校や地域での課題を踏まえ、森林教育の取組が幅広く推進されるよう「地域講座」(6回)や、指導者(森のせんせい)のスキルアップを目的とした「森のせんせいスキルアップ講座」(3回)、学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修(1回)を実施し、指導者の育成を図ります。



R3 森林教育指導者養成講座  
(主体的・対話的で深い学び編)



R3 森林教育指導者養成講座(木・木材編(初級))  
森のせんせいスキルアップ講座(木・木材編(中級))

## (2) 森の学校の開催

指導者の実践の場として、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが講師となり森林散策や木工体験等を行う「森の学校」を21回開催します。



R3 森の学校 (イオンモール東員)



R3 森の学校 (三重県立こどもの城)

## (3) 森林教育指導者等への活動支援

### ① 森のせんせいの登録及びネットワーク化

森林教育の指導者を森のせんせいとして登録するとともに、森のせんせい等森林教育の指導者のネットワークを構築するため、県内3か所で座談会を開催します。

### ② 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、市町及び県を対象に、森林教育活動や森づくり活動に必要な物品等の貸出を行います。

#### 【貸出物品の一例】



イヤーマフ付き  
ヘルメット



クッブ

なりきりセット用つなぎ



## (4) 学校現場における森林教育の支援

## ① 出前授業の実施(10回程度)

市町、学校、保育所等における森林教育を支援するため、学校等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム提案等を行い、出前授業を実施します。



R3 出前授業 (東員町立城山小学校)



R3 出前授業 (いなべ市立三里小学校)

## ② 森林教育活動のコーディネート

森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネートを行います。



R3 森林教育コーディネート  
(伊勢市立中島小学校)



R3 森林教育コーディネート  
(伊勢市立城田小学校)



(5) みえの森フォトコンテスト及び森の写真教室の開催

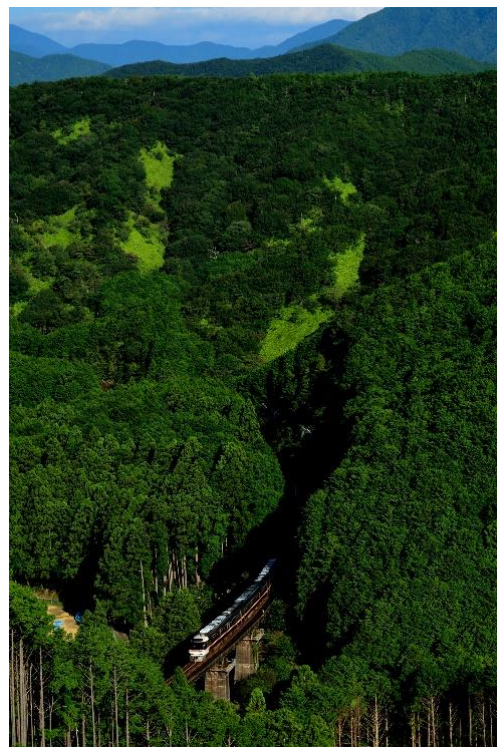
写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテスト及び写真教室を開催します。

また、第8回及び第9回みえの森フォトコンテスト入賞作品を県施設や大型商業施設等で展示します。



(上) 小学生以下の部 第8回最優秀賞作品  
「タコの吸盤」

(右) 中学生以上の部 第8回最優秀賞作品  
「足元の世界」



(6) 森づくり活動の支援

① 県民参加の植樹祭の実施

広く県民に呼びかけ、森林を育む気持ちを知っていただき、県民参加の森づくりを推進するための植樹祭を開催します。



R3 県民参加の植樹祭



② 森づくり活動支援講座の開催

地域で森づくり活動をさらに活発化するため、安全・安心な活動に向けた森づくりに関する講習会を開催します。

③ 森づくり活動団体等からの相談対応等

森づくり活動団体等からの相談対応や、市町における事業構築にかかる提案を行います。

(7) 森林教育・森づくりに関する情報発信

① 活動事例集の作成・配布

学校等において、森林教育の導入や取組の参考となるよう、県内で実施された森林教育活動の取組を取りまとめた事例集を作成します。

作成した事例集は、県内小中学校や関係機関へ配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載します。

② 森林づくりニュースの発行

県内における森林教育や森づくり活動に関する季刊誌を年4回発行し、市町や森林教育関係施設及び森のせんせいなどに配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載します。



③ ホームページや SNS を活用した情報発信

県内における森林教育や森づくり活動に関する情報や、この事業がみえ森と緑の県民税を活用して実施していることを、みえ森づくりサポートセンターのホームページや Facebook、Instagram を活用して発信します。

## ④ 相談対応

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行います。

## ④一ウ: 森林教育施設整備事業

担当課: 林業研究所 普及・森林教育課

基本方針: ②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分: ④森と人をつなぐ学びの場づくり

### 1 事業の目的

県民の皆さんがいつでも利用できる森林教育の活動フィールドや木製遊具などが常設された施設等を整備し、森林・林業、木材利用への理解を深め、意識の醸成を図ることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

### 2 令和4年度事業の概要

#### (1) 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営

三重県民の森のみえ森林教育ステーションにおいて、感染症対策に努めながら、ステーションの適正な運営を行うとともに、定期的に森林教育にかかるイベント等を実施にします。



利用の様子



イベントの開催状況



季節ごとの展示解説



## (2)三重県林業研究所みえ森林教育ステーションの整備

三重県林業研究所の樹木園などの野外フィールドについて、みえ森林教育ステーションとして森林教育活動が行えるフィールドに再整備します。

整備内容の検討にあたっては、業務実績のある事業者に計画設計業務を委託し、林業研究所関係者のほか、森林教育や植物生態学への造詣の深い学識経験者に意見を求めながら検討を進めます。

対象地の面積及び想定する整備内容

No.	名称	面積(ha) (参考)	想定する整備内容(参考)
1	樹木図鑑園	0.48	樹木の整理、植栽、樹形・樹勢・植生の回復、園路の改修
2	機械練習場	0.38	重機等の操縦や林業作業の実習のスペースを整理するとともに、プレーパークとして広場を整備
3	庭園	0.20	樹木の整理、植栽、多目的広場の設置
4	炭焼き窯跡	0.03	実習等で使用する炭焼き窯の設置
5	芝生広場	0.25	植え込み・生垣の整理、不陸整正、焚火場の設置、記念碑の移設、植栽、芝張り直し
6	樹木園	0.19	樹木の整理、植栽、樹形・樹勢・植生の回復
7	苗畑	0.08	多目的広場の設置
8	道形	0.03	苗畑への進入路(砂利敷き等)として整備
9	採種園跡	1.24	地域植生の復元、野外活動フィールドとして整備、休憩用仮設工作物等の設置
10	スギ採種園	0.47	樹木を活用した森林フィールドとして整備
	計	3.35	

## ⑤：生物多様性推進事業

担当課：みどり共生推進課

**基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり**

**対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり**

### 1 事業の目的

活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。

### 2 事業の必要性

県では、これまで、地域の特性を踏まえた生物多様性の保全を進めるための地域戦略である「みえ生物多様性推進プラン」の取組方針に沿って、生物多様性に関する理解の促進を図るとともに、県民による地域の自然を守る保全活動など、地域と連携した取組を進めてきました。

その結果、自然環境の保全に取り組む活動団体数や希少種等の保全活動実施数が増加するなど、一定の成果が得られました。

一方で、近年、大規模な自然地の開発が増加しているほか、管理不足の里山等の増加、外来生物の増加など、森林生態系の置かれている現況は依然として厳しい状況にあります。

そのため、これまでの取り組みをさらに進めるとともに、今後は様々な主体と協力しながら生物多様性の保全に取り組んでいく必要があります。

### 3 事業の内容

県内各地における自然環境に関する保全活動の活発化や開発事業に対する環境配慮の促進のためには、県民や事業者の生物多様性についての正しい理解が不可欠です。そのためには自然環境や野生動植物に関する情報やデータベースが必要であり、希少動植物の情報などを取りまとめた「三重県レッドデータブック2015」がその基礎資料として広く活用されています。しかし、この「三重県レッドデータブック2015」は発行から7年が経過しており、近年では森林及び里山地域での太陽光発電施設等の開発が増加していることから、内容に現状との乖離が生じていると思われます。レッドデータブックが将来にわたり基礎資料としての精度を維持していくには、野生動植物の生息状況の変化等を踏まえた一定期間ごとの見直しが必要です。

そこで、レッドデータブックの改訂に向けて、“絶滅のおそれ”に関する評価基

準の設定、評価が必要な種のリストアップ、それらの種の生息状況調査を行います。また、県民への生物多様性やレッドデータブックについての普及啓発と理解促進のため、自然観察会や県民参加による生息状況調査を行います。

引き続き、自然環境保全活動の支援として、自然環境保全団体への専門家派遣や合同での調査・保全活動を行います。

## ⑥：森林とふれあう自然公園環境整備事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

### 1 事業の目的

本事業では、県民が森林や緑と親しむ機会を創生するため、県内の市町に跨って広域的に配置されている自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道等を活用し、地域のNPOや団体、市町等と連携して森林教育のイベントやガイドツアー等の取り組みを推進します。

このため、イベント等の企画・運営や自然公園の保全・利用の啓発等を実施するとともに、活動のフィールドとなる自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道等の施設の安全確認や改修などを行い、県民全体で森林を支える社会づくりを推進します。

### 2 事業の必要性

近年は、自然体験に対するニーズが高まっており、県民が地域の自然と触れ合いながら知識や理解を深めることのできる森林教育の場を早急に構築する必要があります。

また、森林教育のイベントやガイドツアーで活用する自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道等は、設置して30年以上を経て老朽化による転落防止柵や歩道等の損傷が進んでいることから、利用者が安全・安心に利用するためには、施設の再整備を進める必要があります。

### 3 事業の内容

多くの県民が森林や緑と親しめるよう、地域のNPOや団体、市町等と連携し自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道等を活用して実施する森林教育のイベントやガイドツアー等を行います。

また、そのフィールドとなる自然公園の園地や自然歩道等において、活用される施設の安全確認・点検を行い、安全・安心に利用できるようにサイン標識や看板の設置、歩道の階段や転落防止柵等の改修などを行います。



自然観察ツアー  
ガイドからの説明状況



森林教育イベント  
参加者によるヒノキの皮むき体験状況

## ⑦：みえ森と緑の県民税市町交付金

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり ②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：5つの対策全て

### 1 事業の目的

「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開すること、また県と市町が連携して課題解決に取り組みます。

### 2 事業の必要性

市町は、森林行政の第一線にあって、森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役として、さらなる取組の拡充を図る必要があります。

### 3 交付金の配分方法

市町交付金には、森林面積や人口を算定基礎として一定のルールに従って配分する「基本枠」と、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分する「連携枠」、森林面積が寡少（100ha未滿または森林率が10%未滿）な市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分する「加算枠」があります。

基本枠の総額と連携枠と加算枠を合算した額の割合は、概ね2：1の割合とします。

また、令和2年度より、台風等による倒木からライフラインを保全し、県民の安全・安心な生活を守るため、「防災枠」を創設しました。

基本枠	均等配分（各市町へ均等に一定額を配分）、人口配分（市町の人口割合に応じて配分）、森林面積配分（市町の森林面積割合に応じて配分）の3つの配分方法を組み合わせて配分します。
連携枠	面的な森林整備や獣害対策など、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分します。
加算枠	森林面積が寡少（100ha未滿または森林率が10%未滿）の市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分します。
防災枠	防災面から県と市町が連携して取り組むライフラインを守る事前伐採に対し、市町からの要望に応じて配分します。

## ⑦－ア－a：流域防災機能強化対策事業【市町交付金（連携枠）事業】

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：①土砂や流木による被害を出さない森林づくり

### 1 事業の目的

山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。

### 2 事業の必要性

県では、「みえ森と緑の県民税」を活用し、流木や土砂流出の発生の恐れのある崩壊土砂流出危険地区（以下「危険地」という。）において、溪流内の危険木の除去のほか、溪流沿いの一定幅の立木を伐採・搬出し、流木や土砂の流出を抑制するための森林整備（災害緩衝林整備事業）等に取り組んできました。

こうした中、災害緩衝林整備事業による整備区域と隣接し、一体的に整備を行うことでより効果を発揮できる森林や、危険地以外にも対策が必要な森林が多数存在していることから、整備の対象を拡大し、土砂や流木による被害を出さない森林づくりを面的に進めていくことが必要です。

### 3 事業の内容

流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備に市町と県が連携して取り組むものとします。

具体的には、人家等の保全対象から概ね2 km 以内の溪流沿いの森林であって、適正な管理がされておらず、流木や土砂の流出により下流に被害を及ぼす恐れがあり、次のいずれかに該当する森林を対象に、市町が、森林所有者と当該森林の管理及び施業方法等について定めた協定を締結したうえで、間伐等の森林整備を実施します。

#### （1）間伐等（災害緩衝林一体型）

みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化することができる森林

#### （2）間伐等（環境林・特定水源地域）

県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例に規定する特定水源地域として指定されている森林

※本事業により森林整備を実施した箇所を含む小流域（保全対象から概ね2 km 以内の溪流沿いの範囲）で新たな森林整備を行う場合、森林環境譲与税は活用しないものとします。

## ⑦－ア－b：森林再生力強化対策事業【市町交付金（連携枠）事業】

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：①土砂や流木による被害を出さない森林づくり

### 1 事業の目的

森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行う ICT 等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図ります。

### 2 事業の必要性

県内の森林においては、ニホンジカが高い密度（14.6 頭/km<sup>2</sup>）で生息していることから、食害による更新の阻害が発生しており、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能の低下が懸念されています。

こうした中、新植地等の確実な更新を図り、「木を植え、育て、収穫し、また植える」という緑の循環のサイクルを実現していくため、ニホンジカの侵入を許さない獣害防止施設等を整備するとともに、捕獲により個体数を減少させ、生息密度を適正な範囲に誘導していくことが必要です。

### 3 事業の内容

#### （1）獣害防止施設等整備

森林所有者等が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内で、健全な森林の造成・保全を目的として行う野生獣による森林被害の防止、野生獣の移動の制御等を図るための獣害防止施設等の整備に対して市町が支援します。

##### （ア）植栽タイプ

伐採跡地等において、植栽とあわせて行う獣害防止施設等の整備

##### （イ）天然更新・更新補助タイプ

（ア）の事業区域と隣接し、林業経営に適さないことから天然更新等を図る伐採跡地等において行う獣害防止施設等の整備

##### （ウ）獣害防止施設等補修

豪雨等で破損した既設の獣害防止施設等の補修

#### （2）ニホンジカの捕獲等

市町が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、ニホンジカの生息密度を適正な範囲に誘導していくため、獣害防止施設等の整備箇所周辺で、ICT 等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施し、効果検証に取り組みます。

※市町長は、森林所有者等から、獣害防止施設等の点検結果及び更新状況等の確認結果について報告を受けるものとし、県と市町、森林所有者等が連携して、事業実施箇所の森林再生状況を確認しながら、災害に強い森林づくりを進めます。

## 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業(連携枠)計画一覧

市町	流域防災機能強化対策事業	森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)	森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)
	事業量	事業量	事業量
津市	80.00 ha	5,400 m	
松阪市	15.00 ha	12,000 m	
多気町	10.00 ha	1,686 m	
大台町	147.00 ha	7,252 m	
度会町	15.00 ha	350 m	
大紀町	6.00 ha	1,000 m	
志摩市	7.90 ha		
伊賀市	109.84 ha		
名張市	15.00 ha		
尾鷲市	1.67 ha	350 m	
紀北町	1.65 ha	3,046 m	
熊野市	6.17 ha	850 m	
紀宝町	20.00 ha		
計	435.23 ha	31,934 m	



## ⑦-イ-a：災害からライフラインを守る事前伐採事業 【市町交付金（防災枠）事業】

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：②暮らしに身近な森林づくり

### 1 事業の目的

台風などの倒木被害により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採に、電力会社等のライフライン事業者と連携して取り組む市町を支援し、台風等に伴う大規模停電の未然防止などのライフラインの保全を図ります。

### 2 事業の必要性

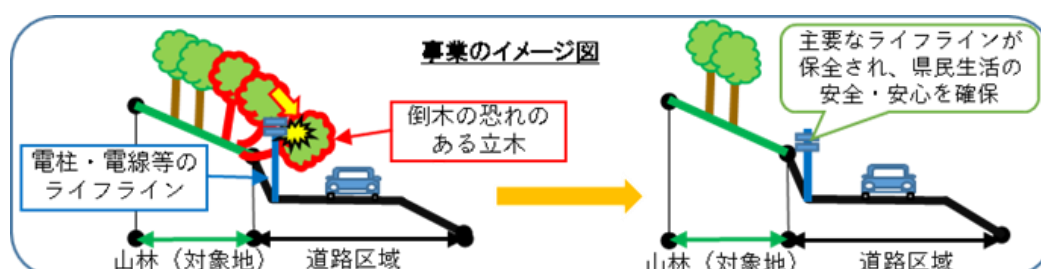
令和元年の台風15号では、千葉県を中心に大規模かつ長期的な停電が発生し、住民生活や地域の経済活動が滞ったうえ、市町の防災システムが機能しない等の甚大な被害が発生しました。また、三重県内においても、平成30年の台風21号では約28万戸で停電被害が発生し、特に山間部では、停電の原因の約80%は倒木によるものでした。

このような被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、災害に強い森林づくりの一環として、市町や電気事業者等のライフライン事業者と連携して、「災害からライフラインを守る事前伐採事業」に取り組む必要があります。

### 3 事業の内容

停電等のライフラインへの被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、ライフライン事業者と連携して、台風などの倒木によりライフラインを寸断してしまう恐れのある樹木の事前伐採に取り組む市町に対して、県が事業費の一部を負担するなどの支援を行います。

事業の実施にあたっては、市町・県・ライフライン事業者の三者で、相互の連携による事業の円滑な実施を目的とした協定を締結することとしています。また、この協定に基づき、三者が構成員となった協議会を設置し、市町が作成する事業計画についての協議や他事業との調整などを行い、事業を進めていきます。



#### 4 令和4年度事業実施予定市町

四日市市、鈴鹿市、亀山市、菰野町、津市、松阪市、多気町、大台町、鳥羽市、  
度会町、名張市（計 11市町）

#### 5 令和4年度予定事業費

総事業費：134,200千円

うちライフライン事業者負担額：67,100千円

うち市町交付金額（防災枠）：33,550千円

うち市町負担額：33,550千円 ※市町交付金（基本枠）を充当可能

#### 6 令和3年度事業実施状況



伐採前状況



伐採後状況



伐採作業の状況

## ⑦—ウ：みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり ②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：5つの対策全て

### 1 事業の目的

森林行政の第一線にあり、森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開します。

### 2 事業の必要性

地域の実情に応じてきめ細かに対応し、住民等と直接的な関係が見込まれる取組を進められる主体は市町以外にはなく、これまで、市町交付金を活用した様々な事業が実施され、「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで大きく貢献していることを考慮すると、市町が創意工夫して森林づくりの施策を展開するための交付金を交付する必要があります。

### 3 事業の内容

1市町当たり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」と、森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの申請に基づく「加算枠交付金」を交付します。加算枠交付金の5年間の累計申請上限額は、1,000万円とします。

交付の対象とする事業は、事業実施の3原則を満たしたうえで、2つの基本方針及び5つの対策に沿った事業としますが、森林環境譲与税と同一の事業には充当できません。また、第2期の期間に実施する市町交付金事業の財源に充てるための基金の積立も交付の対象とします。

なお、令和4年度は、29市町において136事業を計画しています。

対策区分	市町数	事業数	当年度交付額(円)	基金活用額(円)
1	4	4	46,205,000	0
2	27	55	202,938,737	20,803,407
3	19	30	26,692,400	1,926,000
4	18	26	66,089,000	44,363,289
5	9	15	26,601,863	4,091,917
基金積立	6	6	32,804,000	0
計	29	136	401,331,000	71,184,613

## 令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別事業一覧

## 【四日市市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	小学校支障木伐採業務委託	4,972,000		市が実施する、小学校における危険木の伐採等
2	中学校支障木伐採業務委託	4,984,000		市が実施する、中学校における危険木の伐採等
2	都市公園危険木処理事業	5,000,000		市が実施する、都市公園の危険木の伐採等
2	里山・竹林環境保全支援事業	3,000,000		活動団体が実施する、里山や竹林の整備に対する支援
2	危険木等除去支援事業	1,000,000		自治会等が実施する、道路沿いの危険木の伐採等に対する支援
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,250,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
4	市民活動センター運営事業	976,800		市が実施する、市民センターへの木製備品（テーブル、ベンチ、書架）の導入
4	一般備品整備事業（小学校）		8,163,000	市が実施する、小学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入
4	一般備品整備事業（中学校）	4,511,200	5,433,800	市が実施する、中学校図書室への木製備品（机、イス）の導入
四日市市計		27,694,000	13,596,800	

## 【桑名市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	里山再生・竹林整備推進事業	4,931,000		市が実施する、地元住民や児童・生徒の体験活動を通じた竹林の整備
5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000		市が活動団体に委託して実施する、森林公園内の散策路整備等
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	10,419,000		公共施設を木造・木質化するための基金積立
桑名市計		15,884,000	0	

## 【鈴鹿市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	暮らしを守る森林保全事業	2,219,000		市が実施する、海岸林や人家周辺の病虫害被害木の伐採と樹幹注
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	500,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
3	森林環境教育支援事業	200,000		市民団体が実施する、森林教育活動への支援
3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	660,000		市が実施する、植木まつり会場での記念樹配布とアンケート調査
3	森と緑の生涯学習講座	980,000		市が実施する、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催
4	図書館木製備品購入事業	1,000,000		市が実施する、図書館への木製書架の導入
4	公立保育所及び公立幼稚園園等設置事業	5,000,000		市が実施する、公立保育所及び公立幼稚園への木製備品の導入
5	深谷公園里山保全事業	150,000		活動団体が実施する、公園内の里山保全活動に対する支援
5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,680,000		地域団体等が実施する、天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木の診断及び治療等に対する支援
5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000		市が実施する、地域緑化のシンボルツリーである長太の大楠の治療等
5	林道啓発看板等設置事業	810,000	2,927,000	市が実施する、林道や登山道の木製案内看板の設置
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	4,500,000		木製備品導入のための基金積立
鈴鹿市計		20,019,000	2,927,000	

## 【亀山市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	2,000,000		市が実施する、公共施設周辺や道路上の危険木の伐採等
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	500,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	800,000		協議会が実施する、山の日のイベント等の開催に対する支援
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,485,000		市が実施する、幼稚園・保育園等における木製玩具の組立イベントと木製玩具の導入
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	1,958,000		市が実施する、森林公園の八橋のリニューアルと東屋の設置
4	亀山市立図書館備品等整備事業	6,000,000	4,005,000	市が実施する、市立図書館への木製備品の導入
亀山市計		12,743,000	4,005,000	

## 【いなべ市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	危険木の除去事業	6,160,000		自治会が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援
2	危険木の除去事業（主要道路）	2,659,050		市が実施する、主要道路の交通の支障になる危険木の伐採・除去
2	里山竹林環境保全支援事業	2,500,000		活動団体等が自主的に実施する、里山や竹林整備に対する支援
3	中学校卒業記念品配布事業	917,950		市が実施する、市産材で作成した記念品（箸）の中学校卒業生への
3	森林環境教育支援事業	200,000		市が実施する、小学生を対象とした森林教育
いなべ市計		12,437,000	0	

## 【木曽岬町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	暮らしを守る緑保全事業	3,081,650	3,973,407	町が実施する、クビアカツヤカミキリによる被害から桜並木を保全するための取組
3	森林環境教育事業	1,182,450		町が実施する、中学生を対象とした自然体験学習
5	ピオトープ及び学校の森整備事業	1,175,900		町が実施する、小学校敷地内のピオトープと学校の森の整備
木曽岬町計		5,440,000	0	

## 【東員町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	危険木伐倒等業務	1,000,000	500,000	町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等
3	森林教育授業		85,000	町が実施する、小学生を対象とした森林教育
4	教育施設等の備品等購入	5,843,000	3,200,000	町が実施する、教育施設等への木製備品の導入
東員町計		6,843,000	3,785,000	

## 【菰野町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	病虫害被害木伐採搬出事業	2,000,000		土地所有者等が実施する、病虫害による被害木の伐採等への支援
2	危険樹木伐採事業	400,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	1,000,000		町が実施する、幼稚園における木製遊具の導入
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	6,351,000		町が実施する、バリアフリー木道の整備のための基金積立
菰野町計		9,751,000	0	

## 【朝日町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	450,000		活動団体が実施する、里山や竹林整備に対する支援
2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業（あさひ竹プロジェクト）	2,177,000		町が実施する、里山や竹林の整備を行う活動団体へ貸し出すためのチップターの購入
3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3,156,000	1,841,000	町が実施する、竹を活用したさまざまなイベントの開催
4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）		1,900,000	町が実施する、幼保一体化施設の芝生の維持管理
朝日町計		5,783,000	3,741,000	

## 【川越町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
3	川越中学校自然教室	1,190,000		町が実施する、川越中学校の1年生を対象とした自然教室
3	川越北小学校自然教室	678,000		町が実施する、川越北小学校の5年生を対象とした自然教室
3	川越南小学校自然教室	484,000		町が実施する、川越南小学校の5年生を対象とした自然教室
4	川越北小学校図書室机・椅子整備事業	3,686,000		町が実施する、小学校の図書室への木製備品の導入
4	川越町あいあいホール改修事業		10,073,000	町が実施する、文化施設のエントランスホールの木質化
川越町計		6,038,000	10,073,000	



## 【津市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
1	津市林地残材搬出促進事業	33,508,000		事業者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
2	竹林整備支援事業	1,527,000		市が実施する、活動団体等へ貸し出す小型竹破砕機の購入
3	津市森林環境教育事業	500,000		市が実施する、「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」
3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000		地元協議会が実施する、美里水源の森における林業体験への支援
4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	468,000		市が実施する、子育て支援施設における木製遊具の導入
津市計		39,253,000	0	

## 【松阪市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	里山の森林安全安心対策事業	13,084,000		市が実施する、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	5,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
3	森林環境学習事業	2,900,000		市が実施する、小学校を対象とした森林教育活動
3	松阪の木魅力発信活動事業	300,000		地域団体が実施する、「木と人とのつながり魅力体験ツアー（仮称）」への支援
4	保育園木育推進事業	2,000,000		市が実施する、保育園における木製備品の導入と木育絵本の読み聞
5	都市公園整備事業	4,000,000		市が実施する、都市公園内への東屋の設置
5	文化財センター施設整備事業	4,000,000		市が実施する、文化財センターにおける東屋の設置
松阪市計		31,284,000	0	

## 【多気町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	里山環境保全支援事業	300,000		活動団体等が実施する、自主的な里山整備活動に対する支援
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	900,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
3	木とふれあう教育支援事業	150,000		町が実施する、小学校における木工体験と森林教育
4	木とふれあう環境づくり事業	6,814,000		町が実施する、小学校や保育園などへの木製備品や木製玩具の導入
多気町計		8,164,000	0	

## 【明和町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	松林整備事業	6,096,000		町が実施する、海岸沿いの松林における病虫害被害木の伐採等
3	木育事業	100,000		町が実施する、小学校における木育活動
4	学校木製備品購入事業	4,500,000		町が実施する、小学校における木製机・椅子の導入
明和町計		10,696,000	0	

## 【大台町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	5,152,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
2	集落周辺等危険木伐採事業	9,860,000		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採
3	森林環境教育事業	745,000		町が実施する、地元高校生によるキノコ栽培の体験学習や森林利用に関して学ぶ機会の創出
大台町計		15,757,000	0	

## 【伊勢市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	森林整備事業	16,284,000		市が実施する、海岸沿いの松林における病虫害被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等
2	危険木伐採事業		12,760,000	市が実施する、小中学校などの教育施設周辺の危険木伐採
4	二見地区総合園整備事業	1,512,000	8,488,000	市が実施する、公立保育所への木製備品の導入
伊勢市計		17,796,000	21,248,000	

## 【鳥羽市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	危険木伐採事業	4,513,000		市が実施する、市民生活に支障をきたす恐れがある危険木の伐採
2	危険木伐採事業費補助金	4,000,000		自治会等が実施する、危険木の伐採に対する支援
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業		205,000	市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	500,000		危険木伐採のための基金積立
鳥羽市計		9,013,000	205,000	

## 【志摩市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	災害に強い森林づくり事業	2,575,000		市が実施する、道路沿いの危険木の伐採
2	松くい虫防除事業	5,130,000		市が実施する、松林公園や景勝地の松枯れや蔓延を防ぐための被害木伐採等
3	森と緑ふれあい事業	686,000		市が実施する、木工体験などの体験学習
4	観光農園木製備品購入	1,320,000		市が実施する、公共施設への木製遊具の導入
5	創造の森横山遊歩道整備事業	2,000,000		市が実施する、創造の森横山の遊歩道整備
志摩市計		11,711,000	0	

## 【玉城町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
3	森林環境教育・木育事業	472,000		町が実施する、保育所や小学校での森林教育
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	6,058,000		学校施設の木質化のための基金積立
玉城町計		6,530,000	0	

## 【度会町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
1	流倒木撤去事業	1,500,000		町が実施する、溪流沿いの流倒木の伐採・除去
2	危険木伐採事業	1,778,000	772,000	町が実施する、公共施設周辺の危険木の伐採
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,500,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
3	森林環境教育推進事業	940,000		町が実施する、小学生や幼児を対象とした森林・林業に関する出前授業の実施
4	木材とふれあう場づくり推進事業	2,980,000		町が実施する、保育所等への木製備品の導入
度会町計		9,698,000	772,000	

## 【大紀町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
1	溪流倒木等処理事業	4,000,000		町が実施する、山間部溪流沿い等の倒木や流木の除去
2	生活環境林整備事業	4,000,000		町が実施する、公共施設や通学路沿いの危険木の伐採
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	4,976,000		水道水源林を町有化するための基金積立
大紀町計		12,976,000	0	

## 【南伊勢町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	危険木除去事業	5,884,000		町が実施する、公共施設周辺の危険木除去
2	森林環境教育事業	387,000		町が実施する、小学校における森林教育
4	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業	6,943,000		町が実施する、保育園と図書室への木製備品（椅子・机等）の導入
南伊勢町計		13,214,000	0	

## 【名張市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	危険木伐採事業	4,432,000		市が実施する、公共施設周辺及び通学路等の危険木の伐採
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,200,000		森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援
2	人家裏危険木伐採事業	1,500,000		地域住民等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,200,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	462,000		市が実施する、公立保育園及び幼稚園を対象とした森林教育活動
3	森林環境教育推進事業	100,000		学校単位の実行委員会が実施する、小学校における森林教育に対する支援
4	県産材に親しむことができる木育推進事業	1,674,000	2,700,489	市が実施する、公立保育所等における木製玩具の導入と森林教育活動
4	学校林整備事業	900,000		活動団体が実施する、学校林における遊歩道、広場等の整備に対する支援
5	森林公園等環境活用整備事業	840,000		地域協議会等が実施する、森林公園等の整備に対する支援
5	桜並木保全管理事業	300,000		活動団体が実施する、桜並木保全活動に対する支援
5	無形民俗文化財保全事業	300,000		活動団体が実施する、無形文化財保全のための森林整備に対する支援
名張市計		12,908,000	2,700,489	

## 【伊賀市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	みんなの里山整備活動推進事業	9,120,000		自治会等が実施する、集落周辺の里山や竹林の整備に対する支援
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	7,397,000	103,000	森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援
3	木づかい木育推進事業	2,509,000		市が実施する、出生児及び小学5年生を対象とした木製フォトフレームや地域材の箸の配布
3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,000,000		実行委員会が実施する、小中学校における森林教育に対する支援
3	地域の森と緑のつながり支援事業	300,000		自治会等が実施する、森林・林業・環境学習・木工のイベントや学習活動への支援。
3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	700,000		活動団体等が実施する、地元高校生と協力して行う地域材を活用した木製品開発への支援
伊賀市計		23,026,000	103,000	

## 【尾鷲市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	人家裏危険木伐採事業	1,566,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木伐採に対する支援
2	矢浜公園ほか整備事業	2,531,000	2,490,000	市が実施する、公園等における危険木伐採
4	木とふれあう学校環境づくり事業	238,000		市が実施する、過去に市町交付金事業で導入した机・椅子の維持管理
4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	5,280,000		市が実施する、中学校への市産材を活用した机・椅子の導入
5	中村山公園整備事業	1,997,000		市が実施する、森林公園の整備
尾鷲市計		11,612,000	2,490,000	

## 【紀北町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
1	河川周辺森林立枯木整備事業	7,197,000		町が実施する、河川沿いの枯損木の伐採・搬出
2	危険木伐採事業	4,160,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援
2	集落周辺森林（里山）整備事業	120,000		活動団体等が実施する、集落周辺等の荒廃した森林の整備や歩道整備に対する支援
3	森林環境教育活動支援事業	1,130,000		町が実施する、小中学生を対象とした森林教育
紀北町計		12,607,000	0	



## 【熊野市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	11,000,000		市が実施する、学校敷地内において倒木のおそれのある危険木の伐
5	森とふれあいの場拠点づくり事業	5,894,000		市が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備
	熊野市計	16,894,000	0	

## 【御浜町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	学校危険木伐採事業	5,919,877		町が実施する、学校敷地内における危険木の伐採等
2	町道危険木伐採事業	1,095,160		町が実施する、道路沿いの危険木の伐採等
4	木製備品導入事業		400,000	民間事業者が実施する、木製什器等の導入に対する支援
5	森林公園等環境整備事業	600,963	1,164,917	町が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備
	御浜町計	7,616,000	1,564,917	

## 【紀宝町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
2	生活環境林整備事業	6,944,000		町が実施する、公共施設の周辺や生活道路沿いにおける危険木等の
3	森と緑の環境教育事業	1,000,000		町が実施する、森や緑に関する講演会やワークショップの実施
	紀宝町計	7,944,000	0	

## ⑧：みえ森と緑の県民税制度運営事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：－

対策区分：－

### 1 事業の目的

みえ森と緑の県民税の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行います。

### 2 事業の必要性

第三者により組織された評価委員会で、みえ森と緑の県民税の用途を明確にするため、実施した事業について評価検証していただくとともに、概ね5年ごとに行うみえ森と緑の県民税条例の施行状況についての検討もしていただく必要があります。

また、用途や事業成果などを県民に広く周知することにより、負担を通じて森林づくりへの参加意識が高まり、森林の持つ公益的機能や木材利用の意義についての理解が深まることが期待されます。

### 3 事業の内容

みえ森と緑の県民税評価委員会を開催し、毎年度、みえ森と緑の県民税を活用した事業について評価検証をしていただくとともに、概ね5年ごとに行うみえ森と緑の県民税条例の施行状況についても検討していただきます。

また、みえ森と緑の県民税の用途や事業成果等について、各種媒体を活用した広報活動を行います。加えて、県民全体で森林を支える社会の実現に向けては、「木材利用と森林づくりのつながり」に対する理解促進が重要であることから、木材利用の意義や効果などについて情報発信を行います。



みえ森と緑の県民税評価委員会の開催状況

